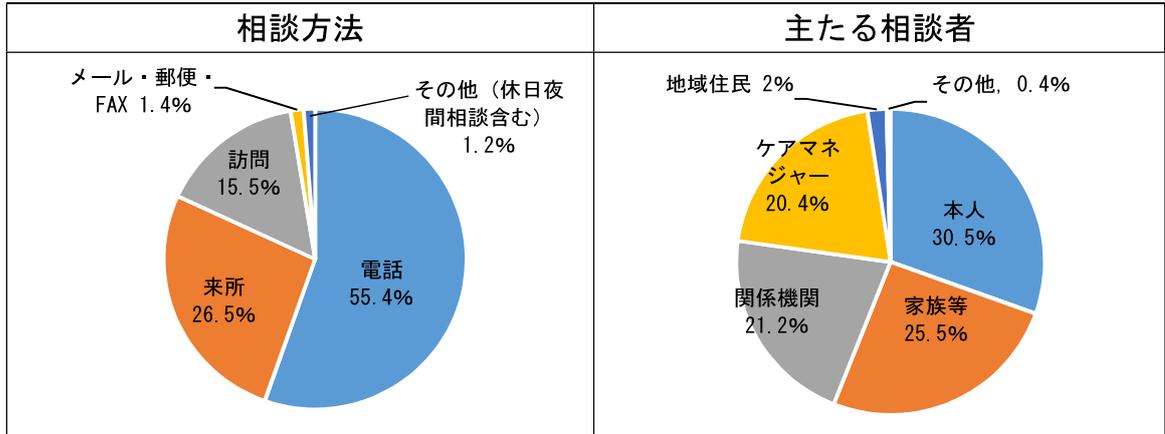


1. 地域包括支援センター相談状況について

(1) 令和3年度地域包括支援センター相談統計（令和3年4月～令和4年3月）

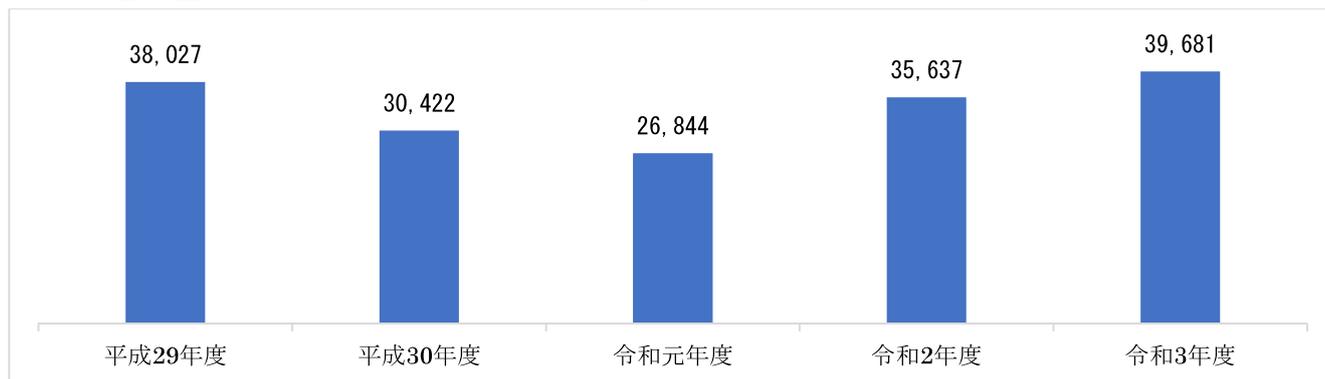


件数										合計
		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	
65歳以上 高齢者人口	高齢者人口※1	7,498	8,019	7,484	6,278	5,872	5,584	7,902	8,277	56,914
	高齢化率	21.2%	21.0%	18.4%	18.6%	17.7%	19.5%	22.0%	22.0%	20.0%
	高齢者人口全体に対する割合	13.2%	14.1%	13.1%	11.0%	10.3%	9.8%	13.9%	14.6%	100.0%
相談方法	来所	1,450	1,721	1,086	1,106	713	869	1,506	2,053	10,504
	電話	3,070	3,405	2,772	1,894	2,533	1,234	2,905	4,177	21,990
	訪問	1,403	567	638	476	469	467	1,077	1,042	6,139
	メール・郵便・FAX	121	30	24	66	117	17	22	157	554
	その他(※2)	105	110	20	27	44	49	62	77	494
	計	6,149	5,833	4,540	3,569	3,876	2,636	5,572	7,506	39,681
主たる相談者	本人	2,514	1,377	1,251	1,037	961	745	2,073	2,133	12,091
	家族等	1,500	1,787	1,158	1,105	1,032	553	1,270	1,719	10,124
	地域住民	106	129	172	54	66	49	118	94	788
	ケアマネジャー	950	1,073	683	710	765	773	1,234	1,903	8,091
	関係機関	1,073	1,389	1,270	644	1,048	490	869	1,636	8,419
	その他	6	78	6	19	4	26	8	21	168
	計	6,149	5,833	4,540	3,569	3,876	2,636	5,572	7,506	39,681

※1 高齢者人口は令和4年1月1日現在

※2 休日夜間相談や出張相談の一部を含む

(2) 地域包括支援センターの相談件数の推移（平成29年度～令和3年度）



※地域包括支援センターの相談件数を平成29年度から示した。

(3) 相談内容延べ件数の推移

年度	29	30	元	2	3
介護保険	20,598	15,898	13,415	16,292	19,268
介護予防プラン及び 新予防給付プラン関連	6,489	4,598	4,357	3,003	3,236
介護予防事業関連	479	325	325	311	557
一般施策(※1)	5,394	4,140	3,853	3,560	4,327
医療・看護・保健	12,928	10,897	9,752	7,826	10,551
権利擁護	2,498	1,544	1,457	1,573	2,288
虐待	841	761	794	1,036	817
生活・経済について(※2)	8,577	7,680	6,834	7,688	8,738
障害者制度について	207	270	250	149	218
介護保険と一般施策以外のサー ビスに関する相談(在宅サービス)	3,619	3,347	3,057	470	602
その他(※3)	5,611	5,120	3,879	1,554	1,636
認知症	4,584	3,927	3,362	3,304	4,174
計	71,825	58,507	51,335	46,766	56,421

※1 紙おむつ支給、おむつ購入費助成、福祉電話の貸出し、救急通報システム、救急医療情報キット、火災安全システム、寝具乾燥、出張理美容、高齢者あんしん位置情報サービス、高齢者補聴器購入助成、自立支援住宅改修、車椅子短期貸出の相談・申請

※2 生活保護、アパート立ち退き、ごみ、近隣関係、住まい（介護保険外の施設、養護老人ホーム、安心住まい等）

※3 苦情、関係機関からの情報提供（実態調査票の受け渡しなど）

(4) 高齢者の夜間緊急・休日相談窓口

令和3年度から、地域包括支援センターの閉館時に、高齢者及びその家族や関係する区民、警察署・消防署等からの電話相談や通報に対応するための相談窓口を設置した。

相談内容としては、「包括職員と連絡がとりたい」といった問い合わせが最も多く、次に健康相談が多かった。「話を聞いて欲しい」といった内容もあった。少数だが安否確認を求める内容もあり、警察や消防への連絡勧奨により救命に至ったケースもあった。

夜間緊急・休日相談窓口 実績報告

包括圏域別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
菊かおる園	0	4	1	6	0	1	1	2	3	2	1	2	23
東部	1	1	2	0	3	0	0	0	0	1	0	1	9
中央	2	0	0	0	1	0	0	0	2	2	2	2	11
ふくろう	1	0	1	2	1	1	1	0	1	0	1	1	10
医師会	0	0	0	2	1	2	0	1	19	1	1	0	27
いけよん	0	1	0	2	1	2	1	1	1	0	2	1	12
アトリエ	1	0	0	1	10	8	2	3	1	4	11	1	42
西部	0	1	0	4	4	0	0	4	1	1	0	2	17
不明	3	4	3	6	2	5	4	10	9	1	8	1	56
	8	11	7	23	23	19	9	21	37	12	26	11	207

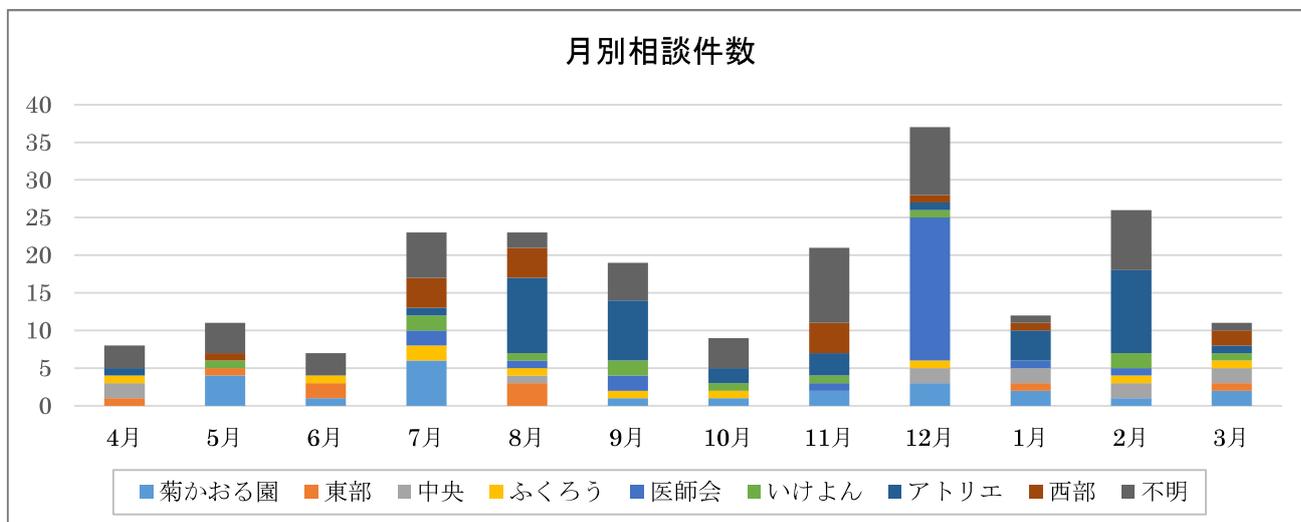
相談別件数

介護に関すること	たとえば・・・ 介護保険を使いたい。車いすを借りたい。	26件
健康相談	たとえば・・・ 腰が痛い。どうすればいいか？	59件
警察等からの問い合わせ	たとえば・・・ 高齢者を保護している。なにか情報はないか？	12件
話を聞いて欲しい	たとえば・・・ 夜になるとさびしい。	18件
問い合わせ等	たとえば・・・ 包括職員と連絡がとりたい。 (安否確認7件・虐待通報1件含む)	92件

相談者別件数

本人	133件
家族	29件
行政職員等	21件
介護事業者	3件
不明	21件

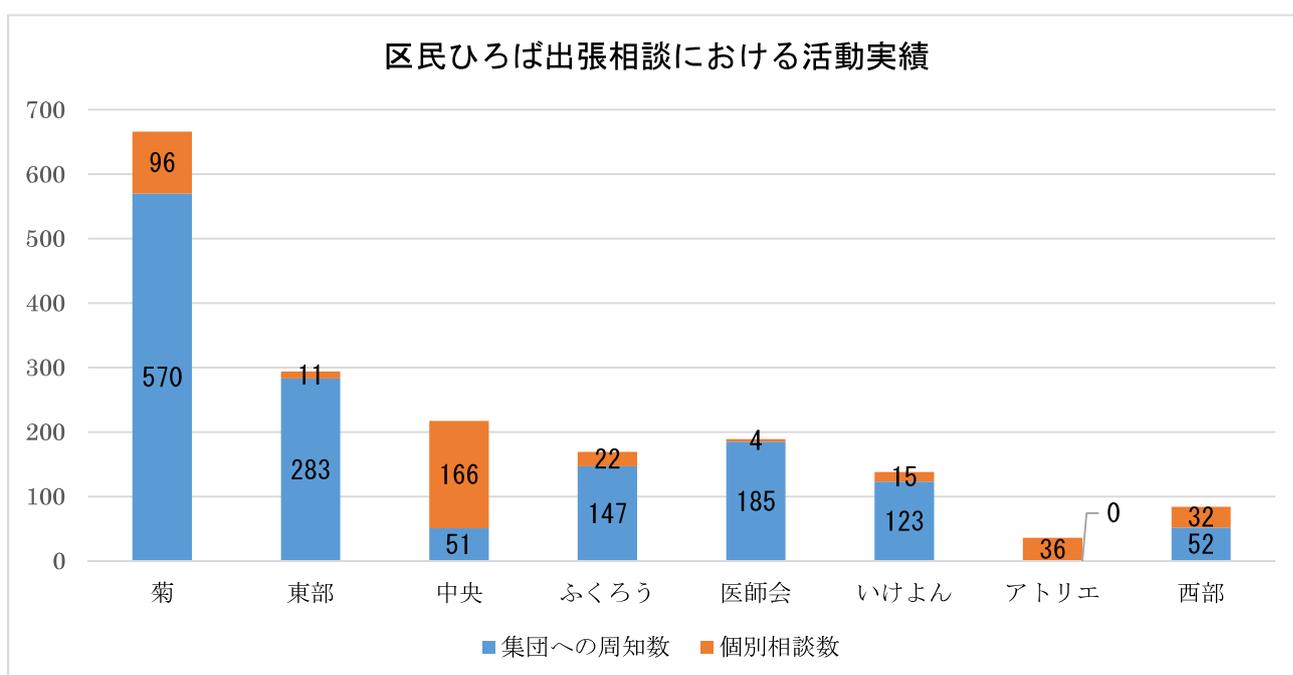
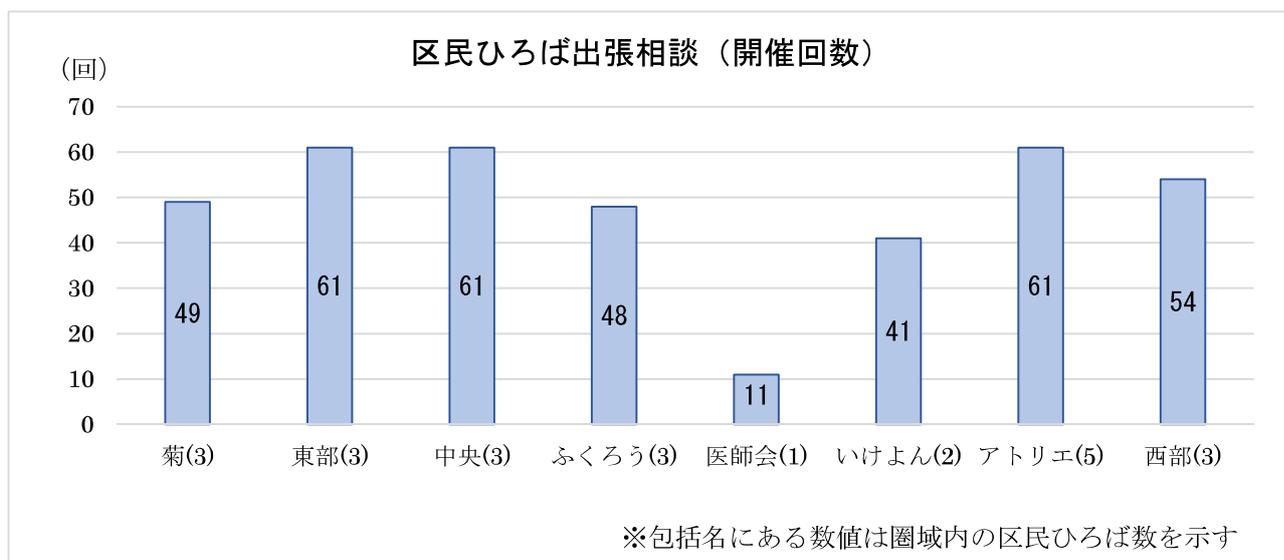
月別相談件数



(5) 区民ひろば出張相談

令和3年度から高齢者総合相談センター職員による区民ひろばへの出張相談を開始した。新型コロナウイルス感染症拡大で一時的に区民ひろばが利用できないところもあったが、高齢者にとって身近な場所で、介護保険や認知症、権利擁護等の「高齢者に関する専門的な相談」への対応が可能となった。

また、区民ひろば職員やCSWと連携を図り、気になる高齢者への見守り体制の強化とともに、高齢者の家族や近隣住民等からも相談できるよう、包括の役割の周知・普及啓発も行っている。



(6) 令和3年度アウトリーチ事業相談統計（令和3年4月～令和4年3月）

		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計
高齢者人口 (65歳以上)	高齢者人口	7,498	8,019	7,484	6,278	5,872	5,584	7,902	8,277	56,914
	高齢化率	21.2%	21.0%	18.4%	18.6%	17.7%	19.5%	22.0%	22.0%	20.0%
	高齢者人口全体に対する割合	13.2%	14.1%	13.1%	11.0%	10.3%	9.8%	13.9%	14.6%	100.0%
相談方法	来所	981	1,566	1,103	1,216	1,044	1,473	1,620	1,320	10,323
	電話	650	1,583	795	1,348	1,380	935	1,009	1,226	8,926
	訪問	643	551	500	643	404	480	284	459	3,964
	その他	719	959	833	896	952	489	1,074	613	6,535
	計	2,993	4,659	3,231	4,103	3,780	3,377	3,987	3,618	29,748
主たる相談者	本人	1,616	2,509	1,693	2,091	1,480	1,167	1,502	1,486	13,544
	家族・親族	322	417	281	505	452	459	467	523	3,426
	近隣・知人	56	50	38	59	57	42	34	77	413
	行政関係者	86	182	117	100	500	153	420	199	1,757
	関係機関	14	89	26	262	127	80	62	90	750
	民生・児童委員	585	1058	953	796	832	868	971	909	6,972
	医療機関・介護事業者等	285	313	120	285	296	574	518	328	2,719
	見守りボランティア等（NPO等地域団体を含む）	16	20	0	1	0	7	1	0	45
	その他	13	21	3	4	36	27	12	6	122
計	2,993	4,659	3,231	4,103	3,780	3,377	3,987	3,618	29,748	

※ 高齢者人口は令和4年1月1日現在

(7) 令和3年度地域包括支援センター事業実績（令和3年4月～令和4年3月）

件数										合計	
		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部		
包括的支援事業	訪問による実態把握延べ件数	1,403	567	638	476	469	467	1,077	1,042	6,139	
	ケアマネジャー相談実件数※	950	1,073	683	710	765	773	1,234	1,903	8,091	
	個別ケース検討会議開催回数	29	32	25	11	17	10	33	25	182	
	地区懇談会開催回数	4	1	2	1	0	4	2	1	15	
	出張講座等開催回数	34	14	26	11	5	2	8	2	102	
	地域における会議体への出席回数	22	25	18	17	9	21	3	13	128	
	地域活動への参加(会議以外)	0	6	0	0	8	9	2	1	26	
介護予防支援事業	予防給付プラン3月請求件数	159	160	161	141	143	129	217	214	1,324	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	81	73	67	79	65	32	110	41	548
		委託件数	78	87	94	62	78	97	107	173	776
第1号介護予防支援事業	予防ケアマネジメント3月請求件数	110	94	80	71	71	71	129	132	758	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	68	44	36	43	40	26	73	26	356
		委託件数	42	50	44	28	31	45	56	106	402

※ケアマネジャー相談件数は、平成28年度より実情に合わせて実件数とした。

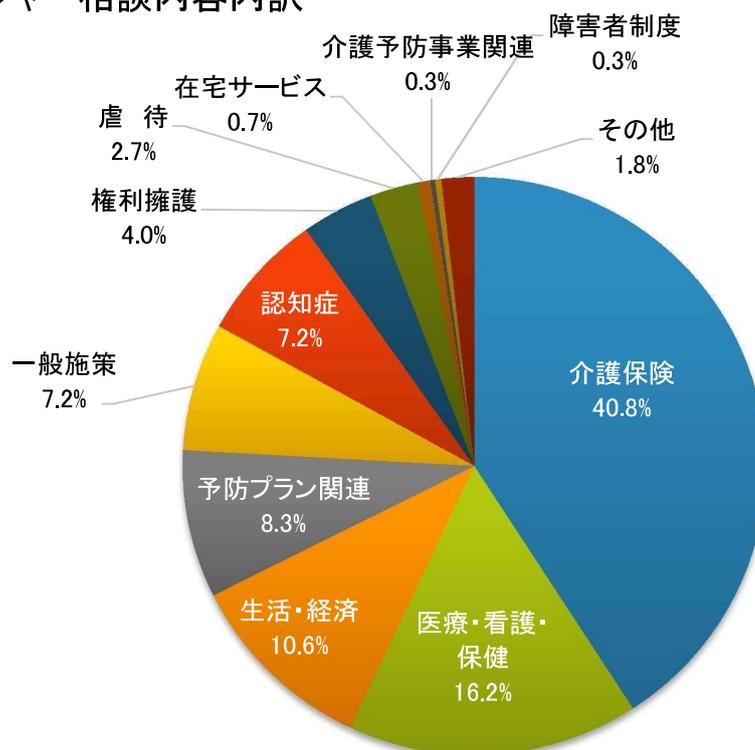
(8) 包括的・継続的ケアマネジメント支援について（令和3年度）

① ケアマネジャー相談件数

総合相談のうち、主たる相談者がケアマネジャーからの相談件数。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	685	654	716	651	733	681	598	655	718	687	662	651	8,091

ケアマネジャー相談内容内訳



- ・相談件数は昨年度より 875 件（10.8%）増加。
- ・相談内容の内訳については、大きな変化はなかった。
- ・ポイント増加項目上位は、「認知症（1.4 ポイント増）」、「医療・看護・保健（1.4 ポイント増）」
- ・ポイント減少項目上位は「予防プラン関連（2 ポイント減）」、「虐待（1.3 ポイント減）」

② 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築

関係機関の連携体制構築にとって、高齢者を担当するケアマネジャーは連携の要となっているため、包括全体として一緒に取組むことが必要となっている。

ケアマネジャーを支援することにとどまらず、地域ぐるみで連携体制構築に向かっていることがわかる。

項 目	内 容
関係機関との連携作り	<ul style="list-style-type: none"> ○CSW、地域生活支援センターや障害支援センターとの連携強化。 ○認知症サポーター養成講座を通じた連携（CSW 協働で大学生対象講座、企業対象・区民ひろば） ○認知症カフェと協働し圏域版ケアパスを作成し関係機関に配布。 ○第2層生活支援コーディネーターとの連携（集合住宅の管理人訪問、介護予防センターやフレイル対策センターとの協働、地域資源の情報交換） ○消防署との連携。防災に関する聞き取り実施。 ○豊島区の総合事業をテーマにした情報交換会や勉強会による事業所の連携
医療機関との連携体制作り	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種連携会議・コアメンバー会議を通じた連携の実施（防災とコロナ、ポストコロナに向けた地域資源共有、区民公開講座の実施、勉強会実施） ○認知症診断・治療や成年後見の診断書作成による医療機関との連携強化 ○関係医療機関のMSW や医事課をリスト化し顔の見える連携に向け準備 ○MCS の活用（利用者と医療機関・関係機関との情報共有、ケアマネ同士の情報ツールとしての利用促進） ○退院情報共有シートを作成し医療機関との退院時連携で活用
地域のインフォーマルサービスとの連携作り	<ul style="list-style-type: none"> ○サロンサポーターや地区懇談会のコアメンバー会議を通じた地域住民代表・団体との交流 ○UR 職員と合同相談会実施。都営住宅やマンション管理人訪問 ○二層生活支援コーディネーターの地域活動情報提供により、ケアマネジャーの利用者宅にボランティア派遣の連携ができた。 ○認知症支援講座・サポーター養成講座に地域のケアマネジャーや介護事業所に講師依頼し、区民ひろばやCSW と連携し、地域住民とともに認知症について考える機会となった。 ○地域在住のボランティア団体代表者と協議し、介護予防サロンの立ち上げ支援を行い令和4年4月より開設 ○地域商店や配食サービス事業者、見守り協定事業者との連携
介護支援専門員に対する個別支援	<ul style="list-style-type: none"> ○12月に全包括と、豊島区主任ケアマネジャー連絡会の共同開催で研修会実施。参加者事前アンケート結果からケアマネジメント業務の課題が抽出され、今後専門部会にて検討予定。

※介護支援専門員向け研修会・勉強会の実施については、別紙「令和3年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧」参照。

2. 運営事業委託実施報告・実施計画

(1) 令和3年度実績報告

① 委託事業所8事業所

(ア) 菊かおる園地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(イ) 東部地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ウ) 中央地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区民社会福祉協議会)
(エ) ふくろうの杜地域包括支援センター	(社会福祉法人	敬心福祉会)
(オ) 豊島区医師会地域包括支援センター	(公益社団法人	豊島区医師会)
(カ) いけよんの郷地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)
(キ) アトリエ村地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ク) 西部地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)

② 執行状況

令和3年4月1日 運営法人と委託契約締結

令和3年5月 各法人が提出した総価分の支払計画額と各月の履行実績に応じて支払う単価分の合計を毎月執行

③ 委託料予算額及び執行額

3年度	金額	内訳	備考
予算	383,637,320 円		
執行額	381,423,920 円	①52,118,752 円 ②51,367,270 円 ③48,838,598 円 ④48,826,192 円 ⑤48,795,040 円 ⑥48,764,140 円 ⑦43,583,040 円 ⑧39,130,888 円	・令和3年度より、夜間・休日等の相談に対応するため、委託料(単価契約分)を増額した。 ・令和3年度より、訪問、出張相談、介護予防推進支援、見守り強化のため、各地域包括支援センター1名の非常勤職員の職員経費分を増額した
執行残	2,213,400 円		執行率 99.4%

(2) 令和4年度実施計画

① 委託事業所8事業所

- (ア) 菊かおる園地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- (イ) 東部地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- (ウ) 中央地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会)
- (エ) ふくろうの杜地域包括支援センター (社会福祉法人 敬心福祉会)
- (オ) 豊島区医師会地域包括支援センター (公益社団法人 豊島区医師会)
- (カ) いけよんの郷地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)
- (キ) アトリエ村地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- (ク) 西部地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)

② 執行状況及び計画

令和4年4月1日 運営法人と委託契約締結

令和4年5月 各法人が提出した総価分の支払計画額と各月の履行実績に応じて支払う単価分の合計を毎月執行

③ 委託料予算額

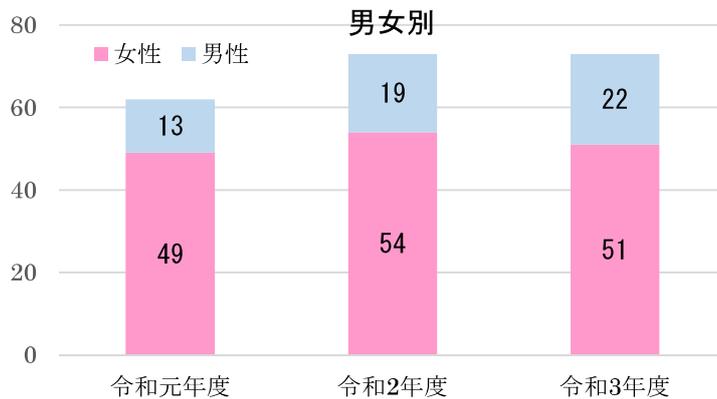
4年度	金額	内訳	備考
予算額	384,680,320 円	一般会計: 24,000,000 円 介護保険事業会計: 360,680,320 円	
総価分	379,672,320 円	①52,465,040 円 ②51,315,040 円 ③48,749,040 円 ④48,697,040 円 ⑤47,969,040 円 ⑥47,478,040 円 ⑦44,511,040 円 ⑧38,488,040 円	
単価分	5,008,000 円	@ 500,000 × 8 事業所 @ 126,000 × 8 事業所	

(3) 高齢者虐待受理状況の推移（地域包括支援センター等から受理した件数）

令和元年度～令和3年度（令和4年3月末時点）

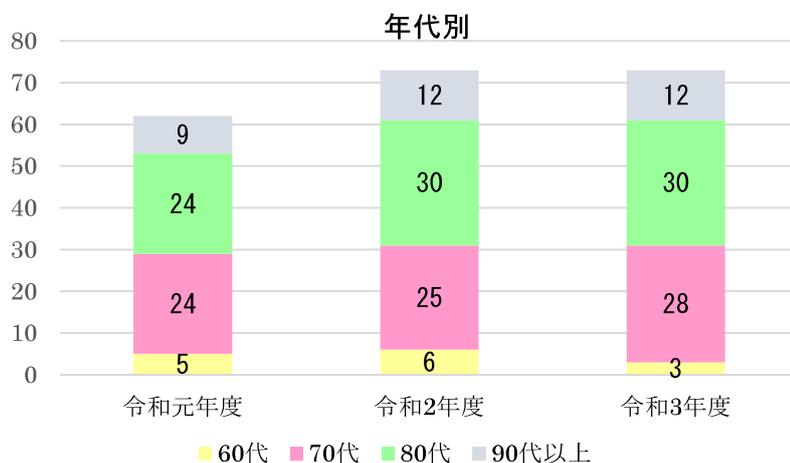
① 被虐待者の内訳（男女別）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性	13	21.0%	19	26.0%	22	30.1%
女性	49	79.0%	54	74.0%	51	69.9%
合計	62	100.0%	73	100.0%	73	100.0%



② 被虐待者の内訳（年齢別）

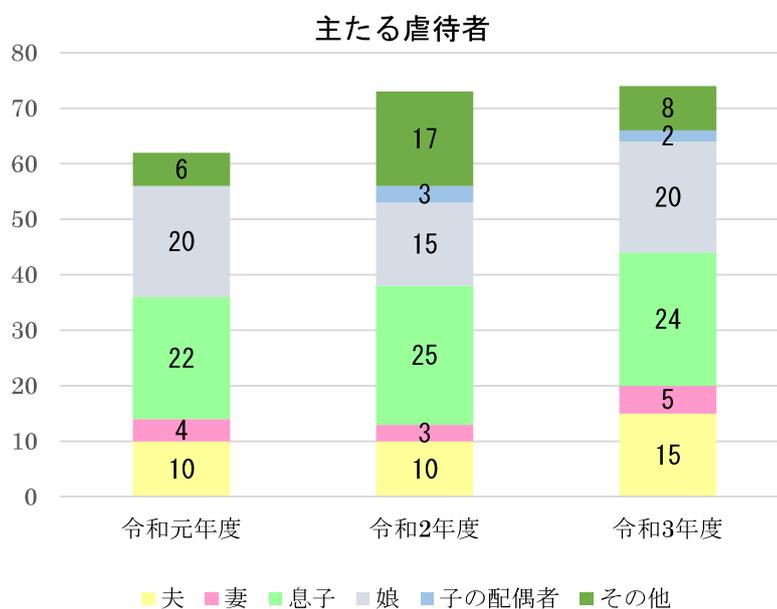
	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
60代	5	8.1%	6	8.0%	3	4.1%
70代	24	38.7%	25	34.0%	28	38.4%
80代	24	38.7%	30	42.0%	30	41.1%
90代以上	9	14.5%	12	16.0%	12	16.4%
合計	62	100.0%	73	100.0%	73	100.0%



③ 主たる虐待者（重複あり）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
夫	10	16.1%	10	13.7%	15	20.3%
妻	4	6.5%	3	4.1%	5	6.8%
息子	22	35.5%	25	34.2%	24	32.4%
娘	20	32.3%	15	20.5%	20	27.0%
子の配偶者	0	0.0%	3	4.1%	2	2.7%
その他※	6	9.7%	17	23.3%	8	10.9%
合計	62	100.0%	73	100.0%	74	100.0%

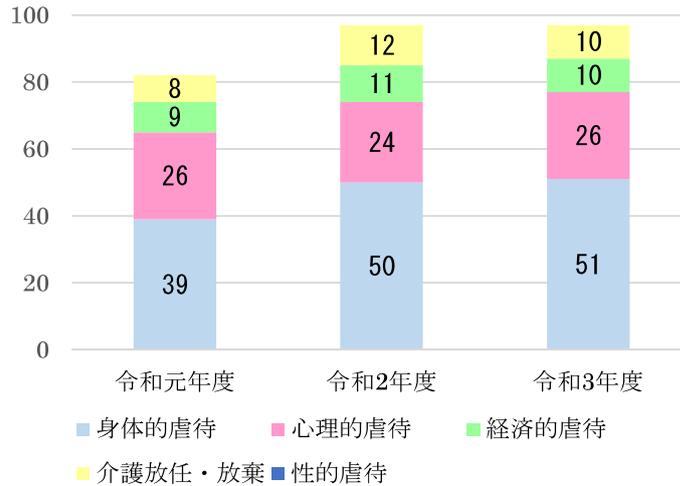
※元夫、孫、兄弟姉妹、甥



④ 虐待の種類（重複あり）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
身体的虐待	39	47.6%	50	51.5%	51	69.9%
心理的虐待	26	31.7%	24	24.7%	26	35.6%
経済的虐待	9	11.0%	11	11.3%	10	13.7%
介護放任・放棄	8	9.8%	12	12.4%	10	13.7%
性的虐待	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	82	100.0%	97	100.0%	97	100.0%

虐待の種類



⑤ 通報・届出者（重複あり）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ケアマネ	23	37.1%	21	28.8%	20	28.2%
介護保険事業所	4	6.5%	9	12.3%	3	4.2%
民生委員	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
被虐待者本人	2	3.2%	5	6.8%	7	9.9%
家族・親族	7	11.3%	9	12.3%	3	4.2%
虐待者自身	0	0.0%	2	2.7%	3	4.2%
警察	14	22.6%	19	26.0%	19	26.8%
医療	4	6.5%	2	2.7%	4	5.6%
行政	2	3.2%	6	8.2%	2	2.8%
その他	5	8.1%	0	0.0%	10	14.1%
合計	62	100.0%	73	100.0%	71	100.0%

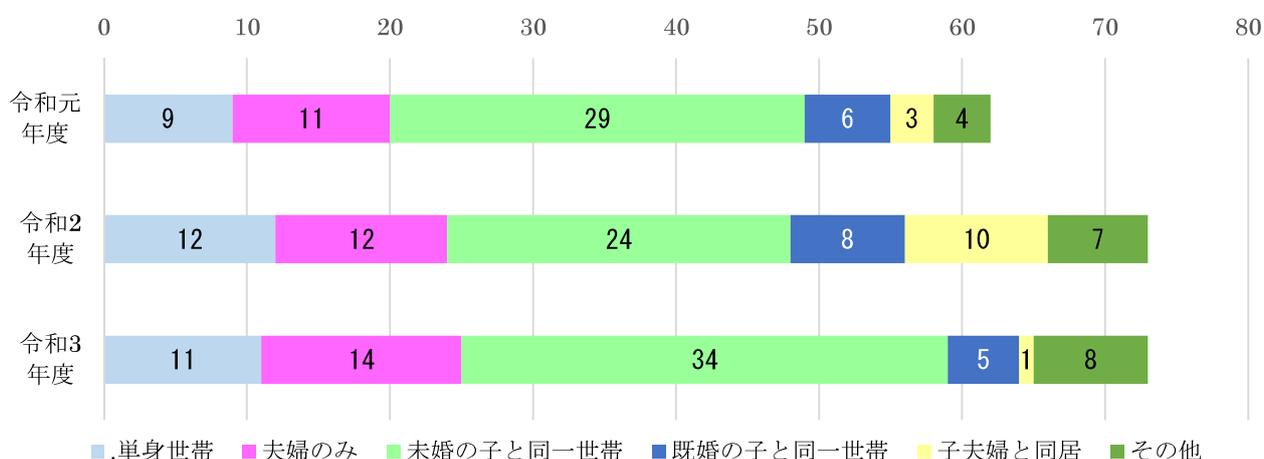
通報・届出者



⑥ 世帯構成

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
単身世帯	9	14.5%	12	16.4%	11	15.1%
夫婦のみ	11	17.7%	12	16.4%	14	19.2%
未婚の子と同一世帯	29	46.8%	24	32.9%	34	46.6%
既婚の子と同一世帯	6	9.7%	8	11.0%	5	6.8%
子夫婦と同居	3	4.8%	10	13.7%	1	1.4%
その他	4	6.5%	7	9.6%	8	10.9%
合計	62	100.0%	73	100.0%	73	100.0%

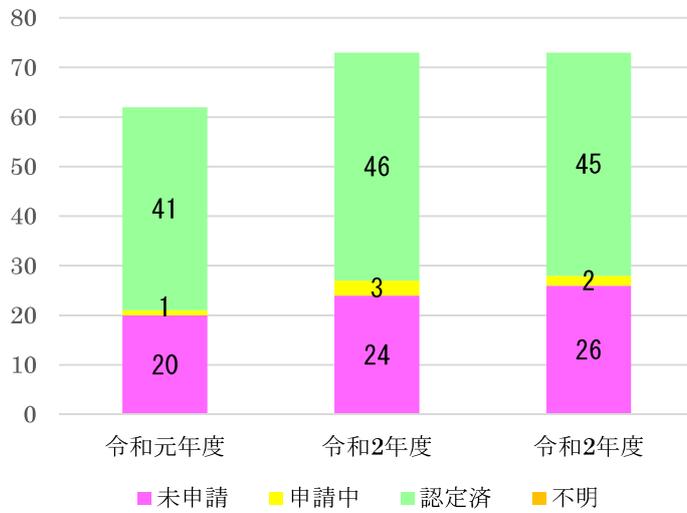
世帯構成



⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
未申請	20	32.3%	24	32.9%	26	35.6%
申請中	1	1.6%	3	4.1%	2	2.7%
認定済	41	66.1%	46	63.0%	45	61.6%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	62	100.0%	73	100.0%	73	100.0%

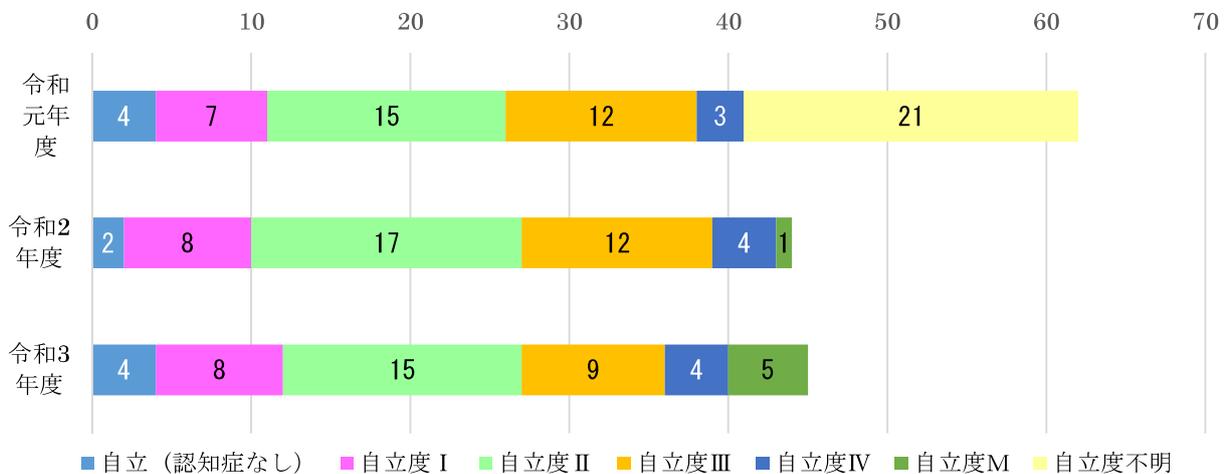
介護保険申請状況



⑧ 認定済み者の認知症日常生活自立度

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自立(認知症なし)	4	6.5%	2	4.5%	4	8.9%
自立度Ⅰ	7	11.3%	8	18.2%	8	17.8%
自立度Ⅱ	15	24.2%	17	38.6%	15	33.3%
自立度Ⅲ	12	19.4%	12	27.3%	9	20.0%
自立度Ⅳ	3	4.8%	4	9.1%	4	8.9%
自立度M	0	0.0%	1	2.3%	5	11.1%
自立度不明	21	33.9%	0	0.0%	0	0.0%
合計	62	100.0%	44	100.0%	45	100.0%

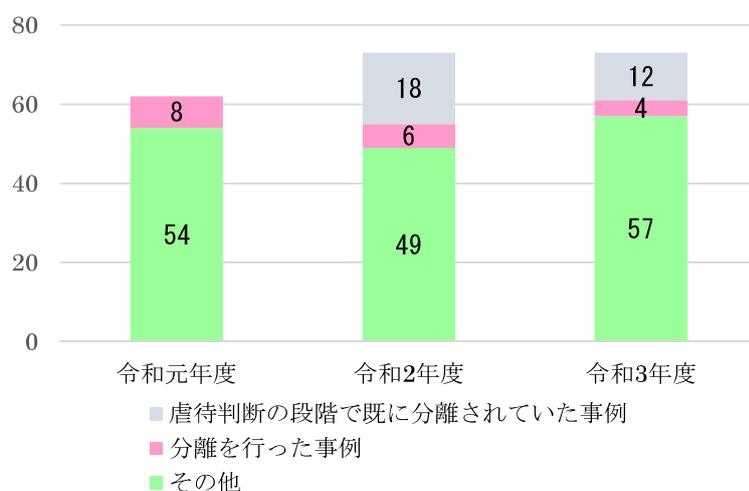
認知症日常生活自立度



⑨ 対応状況

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
虐待判断の段階で既に分離されていた事例	0	0.0%	18	24.7%	12	16.4%
分離を行った事例	8	12.9%	6	8.2%	4	5.5%
その他	54	87.1%	49	67.1%	57	78.1%
合計	62	100.0%	73	100.0%	73	100.0%

対応状況



※内訳（重複あり）

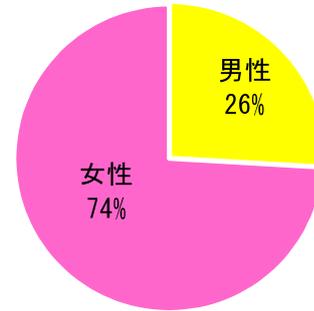
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	件数	件数	件数
養護者に対する助言	10	21	25
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	2	0	1
新たに介護保険サービスを利用	5	3	8
介護保険サービスのケアプランの見直し	11	11	18
介護保険サービス以外のサービスを利用	2	2	6
経過観察(見守り)	11	19	13
その他	20	5	6

(4) 令和2年度東京都高齢者虐待受理状況
令和3年3月末現在

① 被虐待者の内訳（男女別）

	人数	割合
男性	731	26%
女性	2,097	74%
不明	1	0%
合計	2,829	100%
令和元年度	2,911	3%減

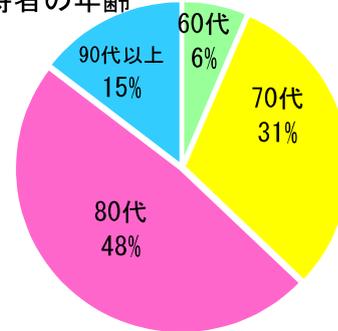
① 被虐待者の内訳（男女別）



② 被虐待者の内訳（年齢別）

	人数	割合
60代	180	6%
70代	870	31%
80代	1,366	48%
90代以上	413	15%
合計	2,829	100%

② 被虐待者の年齢



③ 主たる虐待者（重複あり）

	人数	割合
夫	557	19%
妻	230	8%
息子	1,104	37%
娘	693	23%
子の配偶者	100	3%
その他	301	10%
合計	2,985	100%

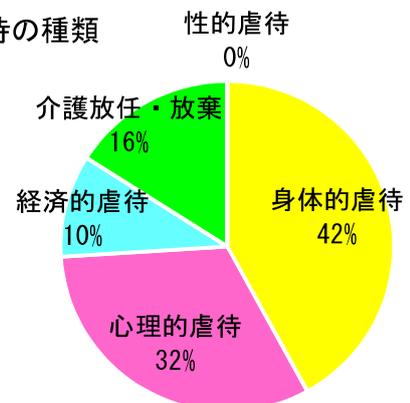
③ 主たる虐待者



④ 虐待の種類（重複あり）

	件数	割合
身体的虐待	1,741	42%
心理的虐待	1,322	32%
経済的虐待	406	10%
介護放任・放棄	647	16%
性的虐待	13	0%
合計	4,129	100%

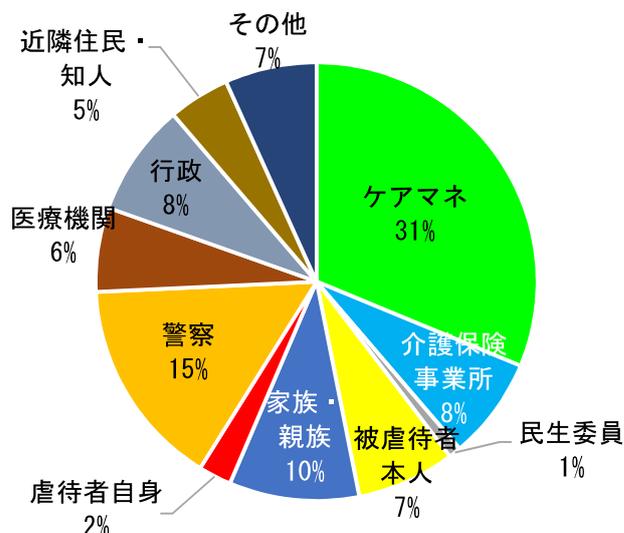
④ 虐待の種類



⑤ 通報・届出者（重複あり）

	件数	割合
ケアマネ	1,330	31%
介護保険事業所	320	8%
民生委員	39	1%
被虐待者本人	306	7%
家族・親族	406	10%
虐待者自身	104	2%
警察	657	15%
医療	264	6%
行政	354	8%
近隣住民・知人	192	5%
その他	288	7%
合計	4,260	100%

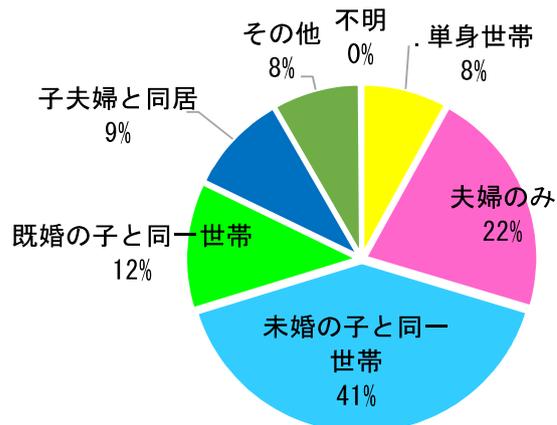
⑤ 通報者内訳



⑥ 世帯構成

	人数	割合
単身世帯	226	8%
夫婦のみ	613	22%
未婚の子と同一世帯	1,148	41%
既婚の子と同一世帯	339	12%
子夫婦と同居	268	9%
その他	232	8%
不明	3	0%
合計	2,829	100%

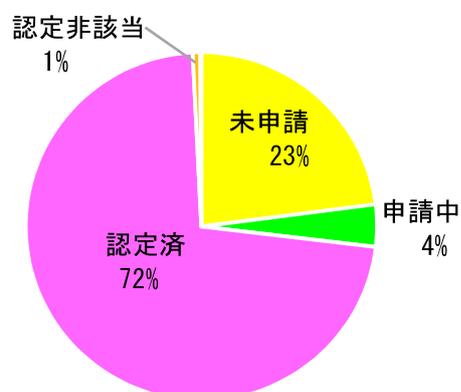
⑥ 世帯構成内訳



⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況

	人数	割合
未申請	650	23%
申請中	109	4%
認定済	2,048	72%
認定非該当	20	1%
不明	2	0%
合計	2,829	100%

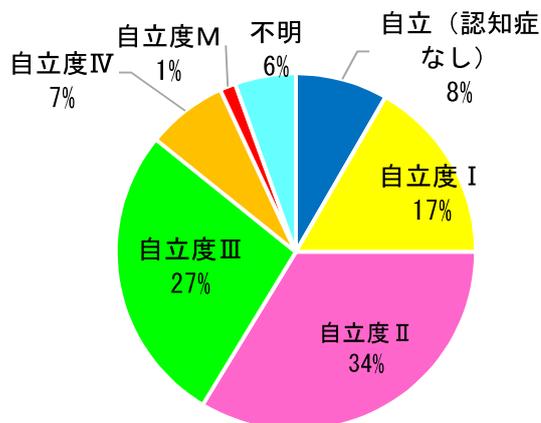
⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況



⑧ 認定済み者の認知症日常生活自立度

	人数	割合
自立(認知症なし)	170	8%
自立度 I	342	17%
自立度 II	689	34%
自立度 III	557	27%
自立度 IV	149	7%
自立度 M	29	1%
自立度不明	112	6%
合計	2,048	100%

⑧ 介護保険認定済者の認知症日常生活自立度



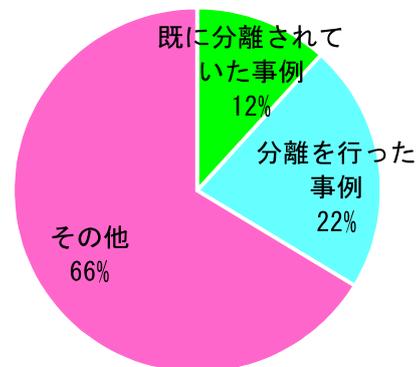
⑨ 対応状況

	人数	割合
虐待判断の段階で既に分離されていた事例	510	12%
分離を行った事例	958	22%
その他※	2,887	66%
合計	4,355	100%

※内訳（重複あり）

	件数
養護者に対する助言	1,447
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	65
新たに介護保険サービスを利用	203
介護保険サービスのケアプランの見直し	709
介護保険サービス以外のサービスを利用	95
経過観察(見守り)	505
その他	558

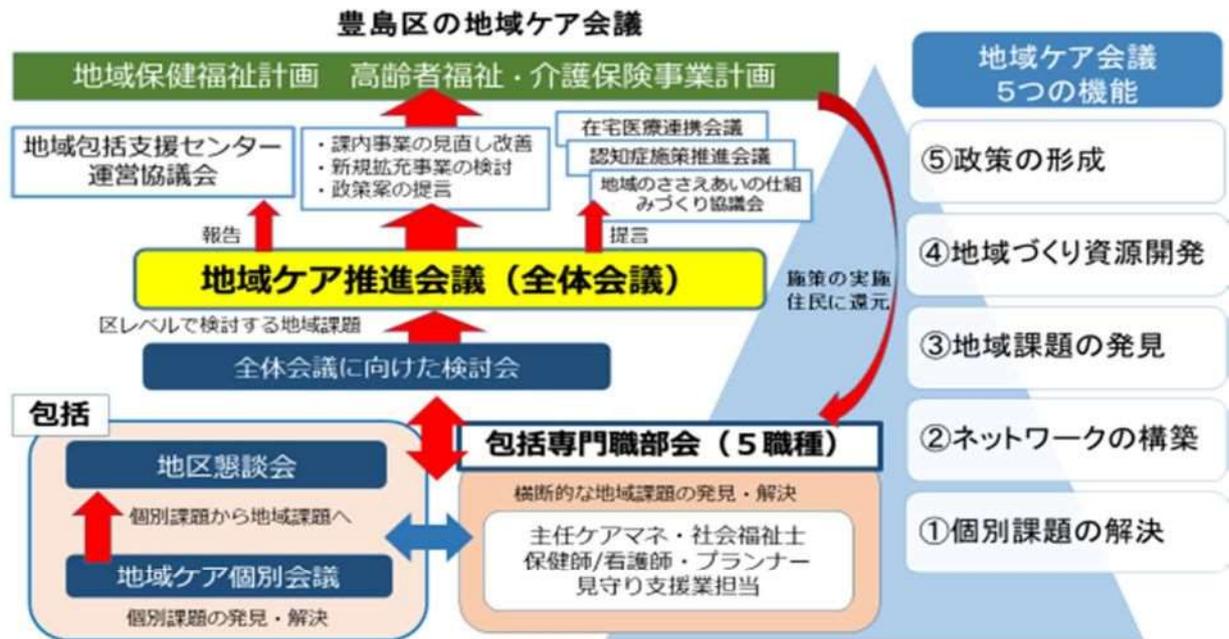
⑨ 対応状況



3. 地域ケア会議・予防プラン等の状況について

(1) 地域ケア会議について（令和3年度）

- 豊島区 の地域ケア会議体系図のとおり、縦横断的に地域課題に取り組む体制を整備している。
- 令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響から地域ケア個別会議・地域ケア推進会議ともに制約がある中、オンラインやハイブリッド開催へ変更するなど柔軟に対応した。



① 地域ケア個別会議

(ア) 「元気はつらつ報告会」（自立支援型地域ケア会議）

高齢者の「本人らしい生活」の実現に向けて多職種の専門的な視点に基づく検討を行う。

(イ) 「生活援助プラン地域ケア会議」（区主催）

厚労省が定める回数以上の回数の訪問介護（生活援助）を位置付けたケアプランについて、自立支援・重度化防止の観点から多職種で検討を行う。

(ウ) 「個別会議」（包括主催）

支援困難ケースの課題検討、ケアマネジャー等の関係者支援を行う。

地域ケア個別会議（区主催）		
(ア)元気はつらつ報告会	(イ)生活援助ケアプラン地域ケア会議	総計
2	0	2

※（イ）未実施の理由
令和3年4月より事例提出のタイミングが年1回になったため該当ケースの地域ケア会議は令和4年度に延期された。

種別		(ア) 包括主催 元気はつらつ報告会	(ウ) 個別会議	総計
地域ケア個別会議	菊	1	29	30
	東部	1	32	33
	中央	2	25	27
	ふくろう	1	11	12
	医師会	1	17	18
	いけよん	1	10	11
	アトリエ	1	33	34
西部	1	25	26	
総計		9	182	191

② 地域ケア推進会議

(ア) 「地域ケア会議全体会議」(区主催)

区レベルで、地域課題解決策の方向性を検討し、地域づくり・資源開発、政策の形成を目指す。

(イ) 「全体会議に向けた検討会」(区主催)

全体会議で検討する地域課題の分析・選定を行う。

(ウ) 「主任介護支援専門員地域ケア会議会」(区主催)

介護支援専門員の支援に向けた検討を行う。

(エ) 「地区懇談会」(包括主催)

地域の課題を共有し、多職種・多機関の連携による包括的な支援や、地域連携、ネットワークづくりを行う。

地域ケア推進会議(区主催)			
(ア) 全体会議	(イ) 全体会議に向けた検討会	(ウ) 主任介護支援専門員地域ケア会議	総計
1	8	0	9

<p>※(ウ)未実施の理由 新型コロナウイルス感染防止期間が延長しケアマネジャーの交流機会は減少した。上記の地域ケア会議に替えて、包括の主任ケアマネジャー専門部会にて課題の抽出を行った。</p>

種別		(エ) 地区懇談会
地域ケア推進会議	菊	4
	東部	1
	中央	2
	ふくろう	1
	医師会	0
	いけよん	4
	アトリエ	2
	西部	1
総計		15

(2) センター長連絡会

各包括間のよりスムーズな連携、情報の一元化等を目指して平成27年度新たに設定した、各包括のセンター長を招集する会議。毎月1回、原則9時から1時間30分程度、事務連絡の他、包括全体で打ち合わせを必要とする課題について検討をおこなった。連絡事項、課題に応じて必要な担当者にも出席を依頼した。

回	実施日	内容
第1回	4月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度米寿訪問について ○緊急ショートステイ事業について ○高齢者の精神疾患への支援について ○フレイルチェックチケットの発送 ○高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施 ○熱中症対策事業及び高齢者実態調査について

回	実施日	内容
第2回	5月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の緊急連絡網と参集調査 ○認知症検診・聴脳力アプリについて ○介護予防のアウトリーチについて ○熱中症対策事業の実施について ○救急医療情報キットの配布について ○通所Bの利用申し込み等について
第3回	6月15日	<ul style="list-style-type: none"> ○副センター長について ○新型コロナウイルスワクチン接種について ○通所Bの手続きマニュアル等について ○短期集中通所型サービスモデル事業の開始について ○訪問B、ケアマネジメントCの取り扱いについて
第4回	7月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者虐待（疑）受付票に関するアンケートについて ○精神疾患のある高齢者への支援に関するヒアリングの結果について ○熱中症対策（環境省モデル事業）について ○ケアマネジメント費の請求データ作成における留意点
第5回	8月17日	<ul style="list-style-type: none"> ○包括運営協議会について ○安否確認リストについて ○高齢者実態調査について ○モデル事業最終日に実施するケア会議について ○ひきこもり支援窓口について
第6回	9月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○包括実地検査・実地指導について ○新型コロナウイルス感染者の在宅療養について ○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について ○高齢者実態調査並びに呼びかけ事業
第7回	10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○転倒防止マニュアルの配布 ○終活支援の検討会について ○令和2年度呼びかけ事業・対象者への訪問について ○通所Bの意見交換会について ○総合事業の周知・啓発状況について
第8回	11月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○包括運営基準変更への対応について ○介護予防リーダー養成講座について ○高齢者実態調査に係る訪問の実施について ○高次脳機能障害について ○住まいの終活について

回	実施日	内容
第9回	12月21日	○補聴器購入助成事業に係るアンケートの実施について ○通所C（栄養）の利用者募集・通所Bの団体登録状況 ○高齢者総合相談センターと消費生活センターの連携
第10回	1月18日	○第2層生活支援コーディネーターの事業報告について ○コロナウイルスワクチンの3回目接種について ○介護予防講演会について ○福祉電話貸与事業、転居を伴う届出について ○呼びかけ事業、返信のない方への対応について
第11回	2月16日	○成年後見制度診断書の改定について ○令和4年度における総合事業の運用見直し（案） ○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について
第12回	3月14日	○虐待受付票の改定について ○令和3年度虐待受付票の2・3報の提出について ○認知症初期集中支援事業 ○救急通報システム、位置情報サービスの新規受付 ○見守りと支え合いネットワーク事業 ○介護認定申請書の変更について

（3）包括専門職部会

社会福祉士、看護師/保健師、主任ケアマネジャー（三職種）の部会が平成27年度以降は一部自主的に行われていたが、令和2年度下半期からはプランナー、見守り支援事業担当を加えた包括5職種による包括専門職部会として再編成し活動を開始した。

① 社会福祉士部会

包括社会福祉士間の情報共有、連携強化、スキルアップを目的とし、約2カ月に1回、該当月の第3木曜日14時30分から2時間程度実施。二部構成で、第一部は事例検討、第二部は、スキルアップのための勉強会を行っている。事例検討においては、包括間の事例の共有や関係機関との連携の仕方、介入のポイント等を話し合い、成功事例の共有にもなっている。第二部においては、内容に応じて関係機関の担当者へ出席を依頼。関係機関と顔の見える関係づくりを通し、連携強化の場となっている。

回	実施日	内容
第1回	6月21日	○終活あんしんセンターについて（豊島区民社会福祉協議会担当チーフより情報提供・意見交換） ○地域ケア会議について ○事例検討（事例提供：ふくろうの杜包括）

回	実施日	内容
第2回	7月15日	○地域ケア会議に向けて ○成年後見制度の利用促進について ○事例検討(事例提供：西部包括)
第3回	9月15日	○豊島区ひきこもり情報サイト 8050 問題等について (福祉総務課自立促進グループ担当係長より情報提供・意見交換) ○事例検討(事例提供：中央包括) ○地域ケアグループより「虐待の帳票」について
第4回	11月18日	○くらし・しごと相談支援センターについて (主任相談支援員より情報提供・意見交換) ○地域ケアグループより「虐待の帳票」について
第5回	1月20日	○サポートとしま 「地域福祉権利擁護事業」受付票について (豊島区民社会福祉協議会 担当チーフより情報提供・意見交換) ○地域ケアグループより「虐待の帳票」について ○全体会議検討会について進捗状況

② 医療職部会

包括医療職間の情報共有、連携強化、スキルアップを目的とし、3カ月に1回、該当月の第4金曜日15時から2時間程度実施している。連携強化やスキルアップのための勉強会では内容に応じて関係機関の担当者にも出席を依頼した。対面開催を基本としているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、第1回目はオンライン開催とした。

第3回部会をきっかけに、令和4年3月17日に「令和3年度としま在宅医療連携担当者連絡会」に参加した。

回	実施日	内容
第1回	6月1日 Zoom 会議	○保健事業と介護予防の一体的実施について ○新型コロナワクチン研修会の報告（東京都看護協会主催） ○令和2年度地域ケア個別会議検討シート集計結果 ○コロナ禍で見た地域課題アクションシート ○情報交換・意見交換
第2回	7月30日	○地域ケア全体会議に向けての包括医療職部会で取り組みたいテーマ選出 ○各種情報交換、部会で取り上げる継続案件について ○前回部会内の質問に対する高齢者福祉課担当 G からの回答及び情報提供

回	実施日	内容
第3回	10月25日	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症介護者の会との意見交換 ○豊島区医師会在宅医療相談窓との意見交換 ○新型コロナウイルス感染症における高齢者在宅療養への対応 ○介護者支援についてのご意見伺い ○情報交換・意見交換
第4回	1月28日	<ul style="list-style-type: none"> ○事例検討会（アドバイザー：精神障害福祉G係長） ○包括医療職と近隣医療機関MSWとの連絡会についてご意見伺い ○地域ケア推進会議（全体会議）に向けた検討会進捗報告 ○情報交換・意見交換

③ 主任ケアマネジャー専門部会

ケアマネジャーの資質向上と主任ケアマネジャーの育成に関する課題について、2か月に1回オンラインで実施している。区主催の委託研修及び包括と豊島区主任ケアマネジャー連絡会の合同開催研修の実施に際して行った調査やアンケートを通して、地域のケアマネジャーの課題を抽出し、地域ケア会議全体会議での報告につながった。

回	日程	内容
第1回	4月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度の部会の開催について ○令和3年度の研修について ○包括合同研修について
第2回	6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ○研修のテーマ・内容について ○地区懇談会で実施したいテーマ・内容 ○基幹型Gより①ZOOMを使用できないCM事業所について ②「コロナ禍で見た地域課題アクションシート」について
第3回	8月2日	<ul style="list-style-type: none"> ○研修の流れについて 研修計画（案）の作成、地域同行型研修企画（案）について ○地域ケア会議全体会議について ○東京都「主任介護支援専門員に係る調査」情報提供
第4回	10月6日	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 ①委託研修の進捗状況②研修計画③機能強化交付金項目について ○研修の実施内容他 ①全体会議に向けた検討会報告②合同研修の進捗③豊島区主任ケアマネジャー連絡会について ○介護者教室について（基幹型係長）

回	日程	内容
第5回	12月3日	○合同研修打合せ ①流れ②役割分担③事後のアンケート④ 修了証発行 ○委託研修の進捗状況報告（基幹型） ○来年度の研修計画について ○豊島区のケアマネジャーの状況について
第6回	2月4日	○合同研修事前アンケート報告 ○区内居宅に関するアンケート集計結果報告（基幹型） ○地域ケア会議全体会議への報告内容の確認 ○令和4年度研修計画の策定

④ プランナー部会

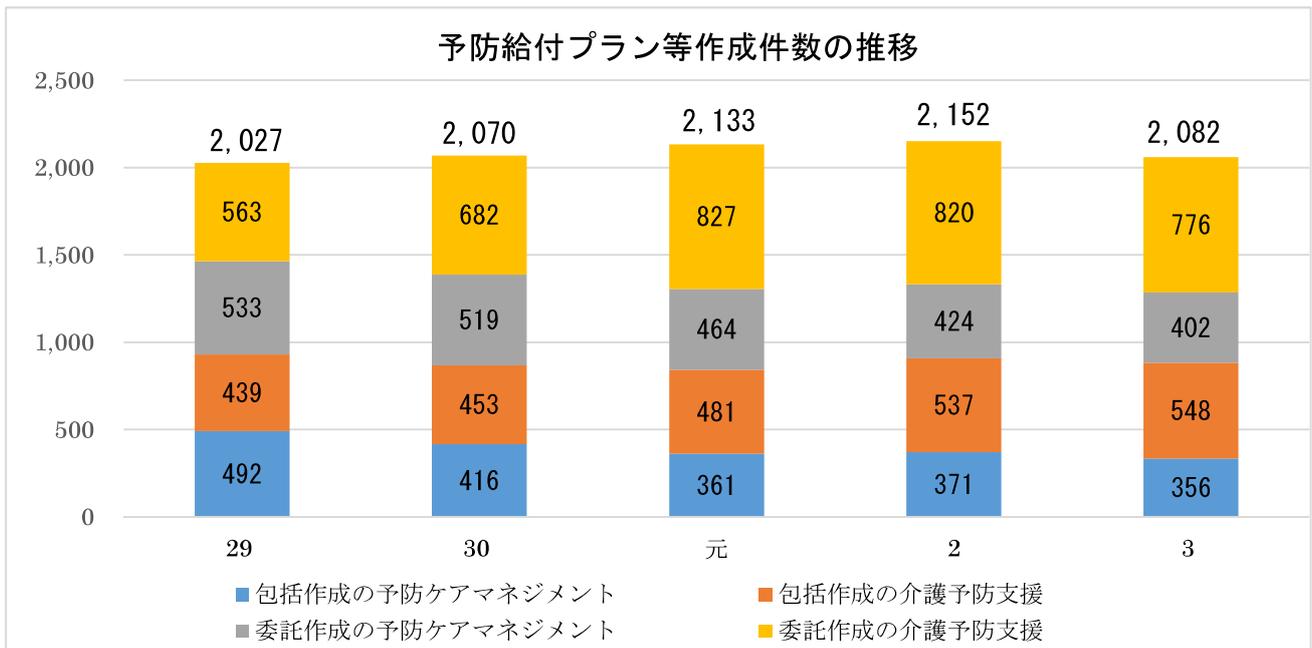
包括プランナー間の情報共有、連携強化、スキルアップを目的として開催した。対面での開催を基本としたが新型コロナウイルス感染拡大の影響で第1回、第2回、第4回はオンライン開催とした。モデル事業の実施及びケアマネジメント類型の新設による変更確認と、ケアマネジメント帳票の取扱い上の課題があり、次年度は帳票等の取扱いを整理することになった。

回	実施日	内容
第1回	6月2日	○情報交換と意見交換（帳票の使用法、保険外の訪問型サービス利用、利用者の新型コロナワクチン接種に関する対応。令和3年度の総合事業の変更点についての確認）
第2回	8月3日	○アクションシートについて各包括との意見交換 ○情報共有（区独自帳票の見直し、リハビリ関連サービスの現状）
第3回	11月2日	○モデル事業の進捗報告 ○ケアマネジメントB・Cのプラン料について ○すこやかプラン評価表の押印について ○契約書等、書類の保管期限について
第4回	1月11日	○介護予防ケアプラン・介護予防支援計画作成研修実施に向けて （研修開催の流れの確認、確認テスト項目の検討）
第5回	2月2日	○研修の最終確認 ○モニタリング評価表の取扱い ○令和4年度の部会について ○モデル事業について振り返り

⑤ 見守り支援事業担当者連絡会

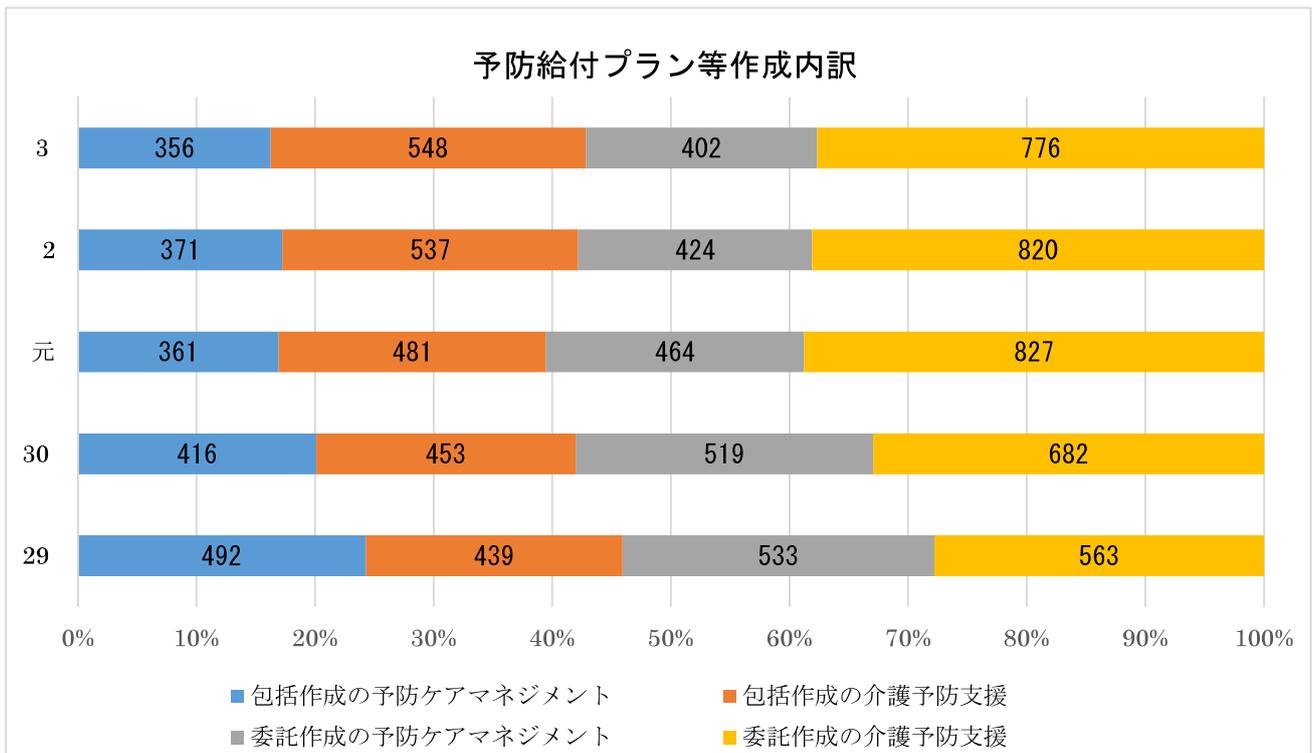
令和3年度は、今までの連絡会を継承し2か月に1回程度実施。

(4) 予防給付プラン等請求実績について（平成 29 年度～令和 3 年度）



令和 3 年度の豊島区予防給付プラン請求件数は、令和 4 年 3 月時点で 2,082 件である（令和 2 年度は 2,152 件）。このうち、地域包括支援センター作成が 904 件（43.4%）、居宅介護支援事業者に委託しての作成が 1,178 件（56.6%）である。

平成 28 年度から総合事業が開始となり、総合事業のみを利用した場合は介護予防ケアマネジメントとなる。また、新規に作成するプランは原則として地域包括支援センターで作成することとなっているが、全体件数の増加に伴い委託の割合が増加している。



4. 認知症対策について

(1) 認知症支援事業 実施状況

① もの忘れ相談（定期相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	4	1	3	0	0	1	2	1	3	1
東部	3	1	2	0	0	1	2	0	2	1
中央	4	1	2	1	0	0	4	0	3	1
ふくろうの杜	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0
豊島区医師会	3	1	1	1	0	0	1	2	3	0
いけよんの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトリエ村	3	1	2	0	0	0	2	1	3	0
西部	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	19	7	10	2	0	2	13	4	15	4

② もの忘れ相談（随時対応相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	7	4	2	1	0	2	3	2	5	2
東部	5	0	4	1	0	0	4	1	3	2
中央	3	2	1	0	0	0	0	3	1	2
ふくろうの杜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊島区医師会	3	2	1	0	0	0	2	1	1	2
いけよんの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトリエ村	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1
西部	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0
合計	20	9	9	2	0	2	10	8	11	9

③ 認知症介護者支援事業・認知症普及啓発（認知症サポーター養成講座、認知症ライフサポート研修）

地域包括支援センター	認知症介護者の会	認知症介護者支援講座	認知症サポーター養成講座
菊かおる園		1回	
東部	11回		1回
中央	6回		1回
ふくろうの杜	11回		
豊島区医師会	9回	1回	1回
いけよんの郷		2回	2回
アトリエ村			
西部	9回	1回	1回
合計	46回	5回	6回

④ 認知症初期集中支援チーム実績

地域包括支援センター	件数
菊かおる園	5
東部	6
中央	2
ふくろうの杜	3
豊島区医師会	4
いけよんの郷	2
アトリエ村	1
西部	4
合計	27

(2) 認知症支援事業について

事業名	事業内容	2年度実績	3年度実績
もの忘れ相談	地域包括支援センターにおいて、「豊島区認知症かかりつけ医」から医師会が選出した相談医が、もの忘れが懸念される高齢者やその家族の相談に応じる。 27年度より、随時対応相談を事業化し開始（豊島区医師会単独では、26年度より実施）	定期相談 10回 18名 随時相談 11回 11名	定期相談 12回 19名 随時相談 20回 20名

事業名		事業内容	2年度実績	3年度実績
高齢者こころの相談		認知症状があり、高齢者本人や家族に病識がなく外来受診につながりにくい場合などに、専門の精神科医が場合によっては訪問し、直接本人や家族と面接することで本人の病状の見立てを行うとともに、今後の関わり方への助言を通して早期治療・支援に対応する。	11回 18件	11回 14件
認知症早期診断・早期対応事業		受診を拒否する認知症の疑いのある区民に対し、地域包括支援センターからの要請で認知症コーディネーターと認知症疾患医療センターアウトリーチチームが訪問し、適切な医療や介護サービスにつなげる支援を行う。	1件	2件
認知症介護者等支援事業	認知症パンフレット作成	認知症に関する基礎知識やサービス・相談先等を掲載したパンフレットを作成し、配布している。	6,000部	6,000部
	認知症支援事業	認知症高齢者の介護者が、病気の理解や対応方法、利用できる制度を学ぶとともに、介護者同士の交流によって仲間づくりの機会を提供し、孤立の防止を図る。	5回	5回
	介護者の会	認知症高齢者を介護している方が安心して悩みや不安を話す情報交換の場として、介護者サポーターが運営を支え、地域包括支援センターが地域情報を提供している。	32回 174人	46回 220人
認知症カフェ		認知症の方やその家族、地域住民、保健福祉医療関係者が立ち寄り、交流や相談の場を提供している。	67回 464人	53回 486人
認知症講演会（もの忘れ相談区民公開講座）		認知症の病気の理解、医療や介護、周囲の支援に関することをテーマに講演会を実施している。	0回	0回
高齢者あんしん位置情報サービス		行方不明になるおそれのある高齢者の介護者に対し、位置情報サービスの利用料金の助成をしている。	18人	15人
認知症医療連携強化（豊島区認知症かかりつけ医）		豊島区医師会では、認知症を診ることのできる医師を増やすために、所定の講習を修了した医師会員を認知症かかりつけ医として登録しており、その名簿を認知症パンフレットに掲載し、周知している。	68人	68人

事業名	事業内容	2年度実績	3年度実績
認知症サポーター養成講座	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）となるための講座を開催している。区主催講座と、講師が出向く出前方式の講座を実施している。	36回 1,098人	60回 1,291人
普及啓発	①広報：事業の案内や講演会などの記事を掲載している。 ②中央図書館の特集展示 ③ホームページ：認知症の病気の知識や支援事業の案内をしている。	高齢者福祉課 広報特別号 1回 8/29～9/24	高齢者福祉課 広報特別号 1回 8/28～9/23
地域包括支援センターでの相談	専門知識を持つ社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員が、高齢者やその家族からの、福祉サービスや介護保険、介護予防などの相談に応じている。		

5. 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況

平成28年度より「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）が始まり、65歳以上の高齢者であれば心身の状況等によって分け隔てなく、一般介護予防事業対象となった。一般介護予防は、住民主体の通いの場を充実させ、継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、生きがいや役割をもって生活できる地域の構築により、介護予防を推進していくことを目的としている。

(1) 通いの場の充実

① 介護予防サロン

事業名	事業概要	サロン数・開催回数・参加実人数
介護予防サロン事業	地域の閉じこもりがちな高齢者が気軽に参加できるサロンを月1回程度開催。	サロン数 10か所 (147回) 1,781人 内訳 [包括 7か所 (92回) 963人 NPO等 3か所 (55回) 818人

② 介護予防活動支援助成金交付事業

事業名	事業概要	団体数
介護予防活動支援助成金交付事業	主に高齢者が主体となって運営する介護予防・認知症活動を行う団体には、年3万円を助成。	45団体

③ 「自主グループ活動」

太極拳や俳句等の自主グループの他、講師と生徒の関係ではなく、誰でも何処でも住民が自主的に継続してできる「としまる体操」の活用を広げ、自主グループを増やしていく。また、自主グループ化した後は、イベントで発表の機会を設けるなど、更に活動の拡大を図る。

主な活動内容	活動グループ数
としまる体操	169 グループ
その他（太極拳、俳句等）	45 グループ

(2) 介護予防の担い手の育成

介護予防活動で自主グループ化を目指す際、率先して地域住民に声かけや活動の取りまとめを行う担い手が必要となるため、「介護予防サポーター」と「介護予防リーダー」の育成を行っている。

事業名	事業概要	累計養成者数
介護予防サポーター	高齢者が自身の介護予防の理解を深め、活躍の場を広げることを目的とし、シニア世代の互助機能を高める役割を担う人材の育成。	217 人
介護予防リーダー	健康寿命延伸のための介護予防推進とシニア世代の役割の創出を目的とし、課題発見型地域づくりを担うリーダーを養成する。	100 人
フレイルサポーター	まちの健康づくり、フレイルチェックの担い手を養成する。	74 人

(3) 体験型プログラム等

事業名	事業概要	実施回数・参加延人数
運動プログラム事業	○高齢者マシントレーニング 高齢者用マシンを使用して、筋力、筋持久力、柔軟性を高める。	3クール<10回> 136人
	○筋力アップ教室 転倒しない身体作りを目指して、足、腰、腹部の筋力アップを図る体操。	6クール<24回> 292人
	○高齢者水中トレーニング 水中歩行、水中負荷による体操を行い、運動機能の向上維持を目指す。	事業終了

事業名	事業概要	実施回数・参加延人数
認知症予防プログラム事業	○シニアのためのウォーキング教室 ウォーキングが脳と身体にもたらす効果について学びながら実践を行い、認知症の予防を目指す。	2クール<8回> 76人
	○絵本読み聞かせ講座 絵本の読み聞かせを行うことで脳を活性化し、認知症予防を目指す。	1クール<1回> 34人
	○シナプソロジー（コグニサイズから変更） 脳活性化エクササイズで動作や発声によって、五感と認知機能に様々な刺激を与える	1クール<1回> 60人
介護予防推進事業	○イベント「介護予防大作戦」	1回 560人
	○お化粧品による介護予防講座 講座やお化粧品教室を開催し、日常的に化粧品に親しみ幸福感や外出する意欲を高める。	コロナ禍により 事業中止
	○口腔ケア講座 歯科衛生士が唾液の分泌を促すマッサージ等の実践を行い、口腔ケアの向上を目指す。	9回 89人
	○栄養講座 管理栄養士が必要な栄養素等の具体的な講座を行い食生活の改善を目指す。	20回 336人
シニアのための測定会事業	身体・体力測定、認知機能検査（簡易）を実施し、介護予防の取り組みのきっかけづくりとする。	事業終了
高齢者元気あとし事業	元気あとし会員に登録してボランティア活動をすると、活動時間に見合ったスタンプを押印する。スタンプ数に応じて現金に換金できる。	会員数 516人
食彩いきいきサロン事業	栄養バランスのとれた食事をしながら参加者同士で交流し、低栄養・閉じこもりを予防する。	事業終了

(4) 地域リハビリテーション支援事業

リハビリテーション専門職が、区民ひろばや、介護予防サロン、としまる体操グループ等、住民主体の通いの場への巡回支援を行う。

介護予防サポーター向け 研修会の開催	リハビリテーション専門職 向け研修会の開催	住民主体の介護予防グループ への巡回指導
コロナ禍により中止	2回	130回

(5) 高田介護予防センター

地域に介護予防の視点が根付き、健康寿命の延伸を目指すため、平成29年に開設。個人・団体を問わず、介護予防の拠点として活用。

① 利用状況

来館者数	介護予防サポーター 導入数	介護予防イベント (自主活動)回数	介護予防事業 開催回数
11,269人	351人	192回	310回

(6) 東池袋フレイル対策センター

フレイル予防に大切な身体、心、社会参加の充実を図るため、食や会話、口腔機能維持などに関することを中心に取り組む多機能型介護予防センターを令和元年に開設。

① 利用状況

来館者数	介護予防サポーター 導入数	介護予防イベント (自主活動)回数	介護予防事業 開催回数
12,905人	555人	164回	182回

② フレイルチェック

フレイル(虚弱)のおそれのある方を早期に発見し、適切に対応するための仕組みとして、65歳以上の区民を対象に、フレイルチェックを実施。

コース	実施回数	参加者数
しっかりコース	36回	319人
かんたんコース	39回	491人

(7) 総合事業等

事業名	事業概要	利用件数
基本チェックリスト	25の質問項目により日常生活に必要な生活機能が低下していないかを調べ、該当者は介護予防・生活支援サービス事業の利用につなげる。 対象：65歳以上の区民	実施数 187件 事業該当者 172件

事業名		事業概要	利用件数
訪問型サービス事業	介護予防訪問事業	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるよう、生活援助や身体介護をする。 対象：要支援1・2	936件
	訪問型サービスA	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるよう、生活援助や簡易な身体介護をする。家事援助のみの場合は区研修修了者により支援することもできる。 対象：要支援1・2	8,240件 (高額介護予防サービス費相当事業費を含む)
	生活支援お助け隊(訪問型サービスB)	区で実施する研修修了者が自宅に訪問して、掃除等の簡易な家事援助をすることで利用者の自立した生活を支援する。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	20件 (実人数)
	短期集中訪問型サービス事業(訪問型サービスC)	3～6か月の期間で、リハビリテーション専門職等からリハビリテーション、口腔ケア、低栄養改善などのアドバイスを受けて、日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	リハビリテーション 122件 口腔ケア 2件 低栄養改善 16件 (実人数)
通所型サービス事業	介護予防通所事業	デイサービスなどで、介護予防を目的とした運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上などの選択的なサービスを日帰りを受けられる。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	9,852件
	通所型サービスA	リハビリに特化したプログラムにより、運動機能を維持・改善させ、自立した日常生活を送れるようサポートする。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	215件
	つながるサロン(通所型サービスB)	自宅や区施設などで体操や会食をしている自主グループによる活動(サロン)へ参加し、心身の活力の低下を予防する。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	90件 (実人数)
	短期集中通所型サービス事業(通所型サービスC)	リハビリ又は栄養改善などが必要な方を対象に、介護予防センターなどで3か月間週1回程度、専門職によるアドバイスを受けながら体操や会食をして日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	73件 (実人数)

令和3年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧

資料1 別紙

連絡先		開催年月日	曜日	開始時	終了時	会場	研修名	内容	対象・人数等	事業所数	開催形態
菊かおる園高齢者総合相談センター 電話：3576-2245	1	令和3年9月16日	木	14:00	15:45	菊かおる園集会所及びオンラインによるハイブリッド形式	菊かおる園包括主催元気はつらつ報告会(通所Cケース)及び令和3年度豊島区総合事業ポイント解説・質問会	「本人らしい生活」の実現に向けた自立支援を学び、豊島区の総合事業の説明と介護予防ケアマネジメントに活かす。			単独
	2	令和3年12月22日	水	10:00	11:30	オンライン	令和3年度 としケア・包括合同研修「ケアマネジャーの役割とは」～こんな時どうしていますか～	ケアマネジャーの役割を振り返ることで、専門職としての価値と倫理を学ぶ。	80	79	3団体以上
	3	令和4年3月18日	金	15:00	16:30	菊かおる園集会所	介護支援専門員研修「家族支援とは」～ジェンダーの視点で家族支援を考える～	ケアマネジメントにおける家族支援の在り方について学ぶ。			単独
東部高齢者総合相談センター 電話：5319-8703	1	令和3年6月14日	月	15:00	17:00	南大塚文化創造館第一会議室	『総合事業について』～疑問を解決しよう～	令和3年度の総合事業の変更点を学び理解を深める。			単独
	2	令和3年9月22日	水	15:00	17:00	オンライン (豊島区歯科医師会館3階会議室)	「ケアマネジャーがzoomホストで担当者会議を行うために」	実際にzoomを利用した担当者会議を行う手順について、事例を交えて実際にパソコンを使用しながら学ぶ。			単独
	3	令和3年11月16日	火	15:00	16:00	南大塚文化創造館第一会議室	『介護保険制度改正後の実務上の課題について』～改正から半年、皆どうしてる？疑問・悩みを話し合おう！！	社保審の資料や介護報酬改正点の解説も参考にしながら、グループワークにて気づきを共有する。			単独
	4	令和3年12月22日	水	10:00	11:30	オンライン	令和3年度 としケア・包括合同研修「ケアマネジャーの役割とは」～こんな時どうしていますか～	ケアマネジャーの役割を振り返ることで、専門職としての価値と倫理を学ぶ。	80	79	3団体以上
	5	令和4年1月17日	月	14:00	15:30	南大塚文化創造館第一会議室	「地域福祉権利擁護事業や法定貢献制度について」	地域福祉権利擁護事業や法定貢献の3類型について学ぶ。			単独

令和3年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧

資料1 別紙

連絡先		開催年月日	曜日	開始時	終了時	会場	研修名	内容	対象・人数等	事業所数	開催形態
中央高齢者総合相談センター 電話：5985-2850	1	令和3年5月19日	水	10:00	11:00	オンライン	豊島区における総合事業の在り方と方向性について	豊島区における総合事業の理念や今後の方向性を正しく理解して介護予防の促進を図る。	20	10	単独
	2	令和3年9月22日	水	10:00	11:00	オンライン	豊島区の引きこもり支援について	引きこもり支援の概要を理解して、多問題世帯の対応力を養う。	20	10	単独
	3	令和3年11月24日	水	10:00	11:00	上池袋第一区民集会室	後見制度とその他の契約東利用の選択肢	権利擁護の視点を確認するとともに、権利擁護関係職種とのネットワークを強化する。	40(司法書士含む)	10(同左)	単独
	4	令和3年12月22日	水	10:00	11:30	オンライン	令和3年度 としケア・包括合同研修「ケアマネジャーの役割とは」～こんな時どうしていますか～	ケアマネジャーの役割を振り返ることで、専門職としての価値と倫理を学ぶ。	80	79	3団体以上
ふくろうの杜高齢者総合相談センター 電話：5958-1208	1	令和3年9月30日	木	13:30	15:30	オンライン	令和3年第一回ふくろうの杜ケアマネジャー研修会「総合事業について」	豊島区の総合事業と自立支援の考え方について理解を深める。事業の活用方法を事例などから考え、日々の支援に活かしていく。			単独
	2	令和3年12月22日	水	10:00	11:30	オンライン	令和3年度 としケア・包括合同研修「ケアマネジャーの役割とは」～こんな時どうしていますか～	ケアマネジャーの役割を振り返ることで、専門職としての価値と倫理を学ぶ。	80	79	3団体以上
豊島区医師会高齢者総合相談センター 電話：3986-3993	1	令和3年9月16日	木	14:00	15:30	オンライン	ケアマネ研修会	担当ケースのマネジメントを通じて、アセスメントや家族を含めた支援の方法について学び、実践力を養う。			単独
	2	令和3年12月22日	水	10:00	11:30	オンライン	令和3年度 としケア・包括合同研修「ケアマネジャーの役割とは」～こんな時どうしていますか～	ケアマネジャーの役割を振り返ることで、専門職としての価値と倫理を学ぶ。	80	79	3団体以上
	3	令和4年2月17日	木	14:00	15:30	オンライン	ケアマネ研修会	担当ケースのマネジメントから見える様々な課題を考察し、予後予測からマネジメント技法を考える。			単独

令和3年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧

資料1 別紙

連絡先		開催年月日	曜日	開始時	終了時	会場	研修名	内容	対象・人数等	事業所数	開催形態
いけよんの郷高齢者 総合相談センター 電話:3986-0917	1	令和3年12月22日	水	10:00	11:30	オンライン	令和3年度 としケア・包括合同研修 「ケアマネジャーの役割とは」 ～こんな時どうしていますか～	ケアマネジャーの役割を振り返 ることで、専門職としての価値 と倫理を学ぶ。	80	79	3団体以 上
	1	令和4年2月頃				未定	事例検討会	事例検討	アトリエ圏域内の介 護支援専門員	10	単独
アトリエ村高齢者総合 相談センター 電話:5965-3415	2	令和3年12月22日	水	10:00	11:30	オンライン	令和3年度 としケア・包括合同研修 「ケアマネジャーの役割とは」 ～こんな時どうしていますか～	ケアマネジャーの役割を振り返 ることで、専門職としての価値 と倫理を学ぶ。	80	79	3団体以 上
	1	令和3年6月24日	木	9:30	11:30	千早地域文化創造館第一会議室	ケアマネ連絡会・事例検討会	新型コロナウイルス感染症の拡大 により、引きこもり状態にある高齢 者の事例からフ、自立支援に向け たプランやインフォーマルサービス について考える。			単独
西部高齢者総合相談 センター 電話:3974-0065	2	令和3年7月14日	水	10:00	11:00	オンライン	新型コロナワクチンのキホン ～効果は？副反応はこわくない？～	利用者・家族等からの問合せの多 い新型コロナワクチン接種につ いて学び支援に活かす。			単独
	3	令和3年12月1日	水	14:00	15:00	オンライン	在宅医と病院医の違い	医療連携の際に医師とのコミュニ ケーションに役立てられるよう、在 宅医と病院医の視点や役割を学 ぶ。			単独
	4	令和3年12月22日	水	10:00	11:30	オンライン研修	令和3年度 としケア・包括合同研修 「ケアマネジャーの役割とは」 ～こんな時どうしていますか～	ケアマネジャーの役割を振り返 ることで、専門職としての価値 と倫理を学ぶ。	80	79	3団体以 上